

病気・事故のあと…



変わったと思ったら

高次脳機能障害

かもしれません。

高次脳機能障害とは、病気や事故の後遺症としてみられる障害です。

専門的には注意障害・記憶障害・遂行機能障害・社会的行動障害などといわれる症状のために、生活の中でそれまでできていたことができなくなって、生活しづらくなります。しかし、一見してわかりにくく、「見えない障害」とも言われています。詳しい症状については裏面をご覧ください。

「高次脳機能障害」チェックリスト

Q. 脳のケガ・病気をしたことがある

脳卒中（脳出血・脳梗塞・くも膜下出血など）、脳炎、低酸素脳症、脳腫瘍などの病気。
交通事故・転落事故・スポーツ事故などによる脳挫傷・びまん性軸索損傷・硬膜下血腫など。

A. はい



以下の質問に進みましょう。

- 同じミスを繰り返すようになった
- 一つのことに長く集中できなくなった
- 一度に複数の指示をされると混乱するようになった
- 新しいことが覚えられなくなった
- 同じことを繰り返し話したり、質問するようになった
- 少し前の話や出来事を忘れるようになった
- 思っていることがうまく話せなかった
- 段取りが悪くなったと感じる
- 優先順位がつけられず混乱するようになった
- 急な変更や突発的な事態に対応できなくなった
- 作業をするとすぐ疲れるようになった
- やる気がなくなり、気づくとボーッとしている
- ささいなことでイライラするようになった
- 気分や調子の波が目立つようになった

→こんなことが増えたら、**高次脳機能障害** かもしれません。

どこに相談すればいいの？

まず、ケガ・病気で入院・通院していた医療機関に相談してみてください。
また、相談窓口として、支援拠点機関が開設されています。遠慮なくご相談下さい。

A. いいえ



高次脳機能障害ではありません。

相談窓口

秋田県高次脳機能障害相談・支援センター (高次脳機能障害支援拠点機関)

地方独立行政法人秋田県立病院機構
秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
医療相談連携室内

〒019-2492 大仙市協和上淀川字五百刈田352

電話：018-892-3751

FAX：018-892-3816

受付時間：平日9:00～16:00（年末年始除く）

